

# 放牧ネット発足

## 大分の生産者ら 連携し技術向上



【大分】県は、県内の放牧実施者、関係者など20人が参加し「おおいた放牧ネット」の発足式を大分市の県庁で行った。放牧に携わる生産者・関係者の交流を深め、率直に意見交換できるネットワークを構築。研修・情報提供なども行い、放牧技術の向上につなげる。

森下幸生県農林水産部理事兼審議監は「大分県は中山間地域が多く、肉用牛は、シイタケや稲作と並び農業経営の柱となる。日本一の放牧県となるようにみんなで知恵を出し、盛り上げていこ

.....  
生産者らが参加し、開かれたおおいた放牧ネットの発足式

う」とコメントした。

同ネットでは、ホームページを利用した情報の発信や、現地検討会、講師を招いた勉強会などを行い、放牧拡大や技術の向上に努める。発足式後の勉強会では、九州大学大学院農学研究院の後藤貴文准教授を講師に招いて「放牧の魅力について」と題して講演を行っ

た。  
会員は随時、募集している。放牧に興味がある人は、誰でも参加できる。問い合わせは大分県庁畜産衛生飼料室、(097)506)3682。